

小諸市動物園の再整備に向けての 市民シンポジウムの開催



大正 15 年に開設以来、県内最古の動物園として市民の皆さんはじめ多くの人に愛されてきた小諸市動物園。現在、施設の老朽化や動物の高齢化、飼育施設に求められる獣舎の改善など様々な課題があります。

多様化するニーズのなかで小諸市動物園のあり方を検討するため、市では平成 28 年 11 月に「小諸市動物園のめざすべき姿」（再整備等）について、懐古園運営委員会に諮問を行ったところ、再整備の必要性があるとの答申がされました。

この答申では、「専門的な知識や経験を持つ有識者の意見を踏まえ将来構想を策定すること」及び「策定には市民の声を反映させること」「特徴的な地形の調査検証を行い安全の確保や財源確保と組織体制の整備」などが記されています。

このことを踏まえ、市民の皆さんの意見や専門家による助言をいただき、8 年後の動物園開設 100 周年に向けて施設の整備を検討していくため、現地見学も含めた形でシンポジウムを開催します。

多くの皆さんの参加をお願いします。

【シンポジウム】 ※申込み不要 問 懐古園事務所 ☎ 22-0296

9/30 (日)

13:00 ~ 16:30

小諸グランド
キャッスルホテル 2 階

第 1 部 13:00 ~ (40 分)

動物園見学

(受付：懐古園事務所前)

第 2 部 14:00 ~ 16:30

シンポジウム

(小諸グランドキャッスルホテル)

【コーディネーター】

打越 綾子氏 (成城大学法学部教授)

【パネリスト】

・成島 悦雄氏

(日本動物園水族館協会 専務理事)

・橋川 央氏

(東山公園協会 教育普及部長)

・佐渡友 陽一氏

(帝京科学大学総合教育センター講師)

・小諸市長

平成 29 年度 小諸市土地開発公社 経営状況のお知らせ

平成 29 年度の小諸市土地開発公社の営業結果は、昨年度より赤字が 8 万円ほど減少したものの、当期純損失として 87 万円余を計上しました。

また、これまで土地開発公社が実施した事業にかかる負債から現在公社が保有している資産を差し引いた結果、3 億 993 万円余の債務超過となっています。

主な原因は、経済情勢の変化、土地の価格の下落によるものです。平成 30 年度は、土地開発公社の経営健全化計画の最終年度となることから、公社のあり方について様々な観点から検討していきます。

【公社の保有地を売却します】

▶西原用地 (西原字原田 145-1 他)

地目：宅地 面積：約 3,722㎡

▶中山住宅用地 (大久保字大磊 1071-5 他)

区画数：7

※詳細はお問い合わせください。

問 小諸市土地開発公社 (商工観光課内)



貸借対照表 (概要)	千円
資産合計	373,158
現金及び預金	117,459
完成土地	44,600
開発中土地	211,099
負債資本合計	373,158
負債合計	683,091
未払金	102
短期借入金	675,000
固定負債	7,989
資本合計	▲ 309,933
資本金	3,000
欠損金	▲ 312,932